

平成 24 年度第 2 回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	平成 25 年 1 月 22 日（月） 午前 10 時 00 分～正午
場 所	佐倉市役所 議会棟 2 階 第 4 委員会室
出席者	<委 員> 湯川委員長、野村委員、魚住委員 <事務局> 契約検査室 <担当課> 資産管理経営室・道路維持課・教育総務課・下水道課・公園緑地課

【議事概要】

○議題 1 入札・契約の手続きの運用状況等について

平成 24 年 4 月から 9 月までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告をしました。

[主な質疑]

(質問) 指名停止期間中に再度指名停止の決定がされ、加重措置の適用を受けた業者があるとのことですが、指名停止中に契約を交わしたということですか。

(回答) 同時履行案件で先の案件が履行遅滞となった後に、工期が後になる案件も履行遅滞になってしまったということです。具体的には、放射線低減工事の案件で、放射線低減の技術者を下請けで配置しなければならないところ、うまく配置できなかったことでの履行遅滞と聞いています。

(質問) 贈賄関係での指名停止が 2 件ありますが、指名停止期間が 2 か月と 6 か月の事案があります。どのような判断になっているのですか。

(回答) 佐倉市の事案であれば、佐倉市の指名停止委員会を開催して指名停止を決定しますが、佐倉市の事案でない場合、千葉県で指名停止の決定をし、公共工事契約業務連絡協議会から各自治体に連絡され、それを準用します。ご指摘の案件の場合は、代表役員ですと 6 か月以上 12 か月以内、一般役員ですと 3 か月以上 9 か月以内、使用人ですと 2 か月以上 6 か月以内と決まっており、責任の重さに準じて期間に差が出ています。

(質問) 低入札価格による落札の場合、施工した後の検査において、出来栄えに問題はないのでしょうか。

(回答) 検査結果は良い部類に入るとはいえませんが、極端に悪いということでもありません。本来は一回の完了検査だけですが、低入札価格での落札の場合、中間時に契約検査室の中間検査を実施し、途中で施工状況を確認しています。

(質問) 契約解除をした案件があるとのことでしたが、無理して受注した経緯などがあつた

のでしょうか。

(回答) 当該業者は、それまでに件数をたくさん受注しており、下請けを予定していた会社
が下に入ることができなくなってしまった状況があったようです。

(質問) 履行遅滞の判断は、どれくらいの猶予で判断しているのでしょうか。

(回答) 履行期限を1日でも過ぎたら履行遅滞となります。いきなり履行遅滞にするのでは
なく、事前に担当者と業者はこのままでは終わらないということで話を進めています。
契約解除にするのか、相当な期間を置けば完了できるのかを見極めたうえで、話をす
すめることとなります。

(質問) 佐倉市で指名停止を受けた場合、他団体においても指名停止をしていることはある
のでしょうか。

(回答) 佐倉市では、他の自治体での契約解除や履行遅滞は該当する当事者同士の固有な契
約での案件と考えて指名停止を行ってはいないのですが、自治体の中では、他の自治
体で履行遅滞などを起こした場合、指名停止をしている場合があります。これが固有
な契約での案件ではなく会社としての問題となれば、公共工事契約業務連絡協議会か
ら連絡が来て、それに基づき指名停止を行うこととなります。

議題2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について

平成24年4月から9月までに実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽
出した10件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。

[主な質疑内容]

案件①佐倉市立南志津小学校放射線低減工事に伴うグラウンド改修工事（一般競争入札）

(質問) 同じようなグラウンド改修工事が他に2案件ありますが、受注した会社の規模で差
はありますか。

(回答) 今回同一内容のグラウンド改修工事3案件については、どれも市内業者案件であり、
市内業者しか参加していません。会社の規模は市内どれも同じくらいの規模であり、
極端に違いのある企業はありません。

(質問) 他の2案件の入札は、何者の参加があったのでしょうか。

(回答) 王子台小学校の案件は3者での入札です。臼井中学校の案件は6者での入札です。

(質問) 落札率がこれだけ違っても、結果としては適正だったということですね。他の自治
体では、除染工事で手抜き工事があったとのことですが、そのようなことはなかった
のですか。

(回答) 当該案件は、工事期間中に校舎の耐震補強工事を施工していたため、耐震補強工事を行っている業者と日程の調整を図る必要があり、連続した工事を組めなかったと思われる、コスト削減がしにくかったものと思われます。適正だったと考えています。手抜き工事はありませんでした。国の会計検査を受け、指摘事項はありませんでした。

案件②佐倉市立下志津小学校渡り廊下設置工事（一般競争入札）

(質問) 類似工事において、昨年や一昨年の状況はどうだったのでしょうか。

(回答) 校舎や体育館と一緒に施工することはあるのですが、渡り廊下单体で工事をするとは近年ありませんでした。

(質問) 参加者が2者と少ないですが、その理由は何か考えられますか。

(回答) 下請けとしてプレハブメーカーが入ることになると思われますが、震災の関係で資材の高騰や工事の増加などにより手を出しにくい状況のようです。工事の職人が期間限定で来るという予定を組みにくい状況にあるとプレハブ業者からも聞いておりますので、下請け業者として入ることができるプレハブ業者が少なかったのではないかと思います。

(質問) 当案件の落札業者がほかの案件でも落札しているようですが、どれも高い落札率なようですが、どのように感じますか。

(回答) 市内では大きな規模の建設会社で、大きな規模の工事に参加をしてくる会社です。参加する案件の入札は、高めです。ある程度利益が見込める案件、金額で入札をしてくる会社と考えられます。

案件③佐倉草ぶえの丘実習館改修建築工事（随意契約）

(質問) 見積合わせを2回実施した際、2回目の見積合せ参加者が1者だけとのことですが、何か理由があるのでしょうか。

(回答) 1回目の見積もりを持ってきたときに各社ともぎりぎりの見積金額であったと思われることと、8月3日までに工事自体を終わらせることとしていたため、短い工期というのも各社が安い価格で入札できなかった理由ではないかと考えます。また、随意契約では、入札参加者は市から指名をしているため、一般競争入札とは違い、参加者が望んで参加した入札ではないことがあると思われます。

(質問) 2回目の入札を実施する際どのような説明をするのですか。

(回答) 2回目を実施する旨と参加者はいますかと確認するだけで、予定価格との差額を類推させるようなことは言いません。

(質問) 予定価格は開札後に公表しないのですか。

(回答) 随意契約では事後であっても予定価格は公表しません。

(質問) 予定価格を知らずに99.5%で落札するのはどのようなことでしょうか。

(回答) 市が発注する工事で使用する設計単価等は公表されていますので、予定価格のある程度の金額を類推することができると思われま。

案件④佐倉市立上志津小学校体育館耐震補強設計業務委託(一般競争入札)

(質問) 入札参加者5者とのことですが、同じ日に発注した千代田小学校の設計業務は何者の参加がありましたか。

(回答) 6者の参加でした。

(質問) 同種業務の落札率はこれくらいなのでしょう。この落札率で業務ができるのか心配ですがどのように考えますか。

(回答) 過去の案件をみると耐震補強設計の落札率は40%から90%くらいと幅があります。この案件の業務を履行している状況を見ると、2案件の現場調査を午前午後に分けて実施したりしており、業者が工夫していることが見受けられます。

(質問) 佐倉市内には建築設計業務を行う業者は無いのでしょうか。

(回答) 建築設計業務は4者ほどありますが、実際ここ数年、佐倉市内の業者が参加してきたことはありません。

案件⑤平成24年度白銀小学校エレベーター保守点検業務委託(随意契約)

(質問) 専門的な業務なので、業者にとって見積もりはし易いのでしょうか。

(回答) 学校建設当時の業者であり、特段特殊な使い方もしていないため、見積もりし易いと思います。

(質問) 業者にとって安定的に業務を確保しやすい案件になるのでしょうか。

(回答) エレベーターの保守点検については、以前から1者随意契約をしています。監査委員から入札に付して門戸を広げるよう指摘を受けたこともありましたが、エレベーターに関する事故が多く発生し、メーカーにしか分からない部分が多くあり、人命にかかわる安全性もあることから、随意契約にて契約をしております。同様に各自治体は随意契約で行っているところが多いと思われまので、安定的に業務を確保できるものと思われま。

(質問) 見積りを徴取する業者は1者だけなのですか。

(回答) 目的性質で契約相手方が特定される場合に2号随意契約を行うので、基本的に1者となります。

(質問) 今回の案件は見積り徴取1回で決まっていますが、案件によっては2回、3回と徴取することはあるのでしょうか。

(回答) 見積金額が予定価格を下回らず、事前の条件の中で見積もりを何回行いますと伝えてあれば、複数回徴取することはあります。ただ、当案件のような保守については、長らく同じ業者が実施しているので、根拠がなければ設計額を下げることはできないので、2回目、3回目まで行うことはあまりありません。

(質問) エレベーターの保守点検の項目は業界等が示しているのですか。

(回答) 建築基準法の中で毎年義務的保守点検をして報告をすることとなっており、書式も決まっておりますし、メーカーのチェック項目も定まっています。

案件⑥平成24年度アスファルト合材(再生密粒度13mm)の購入(一般競争入札)

(質問) 仕様を満たして参加できる業者はどれくらいいるのでしょうか。

(回答) 140度以上でアスファルトを運び入れることができる業者は3者となります。

(質問) 仕様の内容を下げたりすることはできないのでしょうか。

(回答) アスファルトのひきならしや転圧の必要があるため、140度以下の温度で搬入させることにはできません。

(質問) 予定価格を積算する根拠はあるのですか。

(回答) 通常であれば、県の積算資料や建設物価調査会が発行する建設物価から積算するのですが、佐倉市の搬入数量から考えると単価が安くなってしまいます。そのため、3者から見積もりを取って平均単価としています。

(質問) 毎年同一業務を実施しているのでしょうか。また同一業者が受注しているのでしょうか。

(回答) 前年は県の単価を使用したため、不調になっています。そのため、事業場所ごとに契約をして搬入をしていました。それでは必要な時にすぐに購入できないため、今回は搬入できる3者から見積もりを取って設計しました。

案件⑦平成24年度佐倉市役所庁舎消防設備点検業務委託(一般競争入札)

(質問) 昨年度も同じ落札者であったということですが、落札率は何%だったのですか。また金額はいくらでしたか。

(回答) 落札率20%弱で、金額は38万円でした。

(質問) 手抜き業務などの不安はありませんか。

(回答) 前年度に同一業務を受注している業者のため、設備等をよく理解しているとうことで落札率が下がったのではないかと考えます。また、消防点検は消防法に基づいてすべて点検を行います。点検終了後の報告書も消防法に基づいて消防署に提出をし、指摘事項があれば指摘されるので、大きな不安は感じていません。

(質問) 全国的な傾向として、積算額が高くなり、落札率は低くなっているのでしょうか。

(回答) 調べる限り、30から40%台の落札率となっており、落札率は低くなっているようです。設備の数に単価を乗じるので、どこの市町村でも高く積算される傾向があるようです。

(質問) 実際には点検をせずに報告書だけ提出するなど手抜きの恐れがあるのではないですか。

(回答) 施設の施錠などがあるので、点検の際は担当で必ず立会いをしていますので、その恐れはありません。

案件⑧平成24年度佐倉・根郷地区道路草刈業務委託（一般競争入札）

案件⑨平成24年度高野川上流排水路除草業務委託（一般競争入札）

(質問) 同じような業務で、なぜ入札参加者がこれだけ違うと考えますか。

(回答) 同日に公告している案件で道路草刈業務や除草業務が7件あります。規模や設計金額等を比べて利益が生じる取りたい案件を取捨選択して参加している結果と思われるようです。

(質問) 案件⑧と案件⑨の参加対象業者数が違うようですが、なぜですか。

(回答) 設計金額が違うため、案件⑧は県内業者までの資格要件設定ですが、案件⑨は準市内業者までの資格要件設定となっています。そのため参加対象業者数が違います。

(質問) 規模が大きくなると落札率が低くなる傾向があるのですか。

(回答) 資格要件設定が県内までになると参加対象業者数が増え、落札したいと考える業者が増えて、落札率が低くなると考えます。案件⑨については、他の案件と比べて規模も小さく、100万円を切る予定価格となっているため、参加業者が少なくなったものと思われます。

案件⑩（仮称）佐倉西部自然公園区域内山林整備事業（下志津地先）業務委託（一般競争入札）

(質問) 同じような案件が他に2案件ありますが、それぞれの入札状況を教えてください。

(回答) 山林整備事業は3者参加で1者辞退、2者入札です。斜面林整備事業は3者参加で3者入札です。辞退者は同じ企業で職員の配置ができないためという理由です。市内の業者は同じような会社の規模であるため、人員の余裕はないものと思われます。

○その他

次回日程については、4月・5月に調整をさせていただくことになりました。

以上